



カツラ [桂]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 カツラ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い、雌雄異株

風に揺れる丸い葉、新緑時の木洩れ日、端正な樹形、秋の黄葉など季節ごとに魅力がある。黄葉期には周囲に甘い香りを漂わせる。崩壊地では最初に進出するパイオニア植物でもあり、渓谷沿に大株が自生している。白亜紀から存在し、花は原始的で花弁や萼(がく)がない。



緑葉



花



黄葉



実

Memo

黄葉の時期のこうばしい香りは「マルトール」という成分による。特に雨上がりにはよく香る。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期				■ (花は目立たない)									
果 実										■			
黄 葉											■		
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定		■							★★				■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○ 湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○		○		

ポイント シンボルツリー的な配植になることが多いが、西日や日差しが強く乾燥すると衰退しやすい。本来、水の豊富な渓谷沿に生育する樹。湿り気のある土壤環境にするとよい。

剪 定 剪定は落葉期、雌雄異株のため雌株は枝に実をつけている。単幹、株立ともに自然樹形の美しい樹。生長が速いので、樹形を生かす枝抜き剪定とひこばえの除去をする。

病虫害は少ない。

病虫害